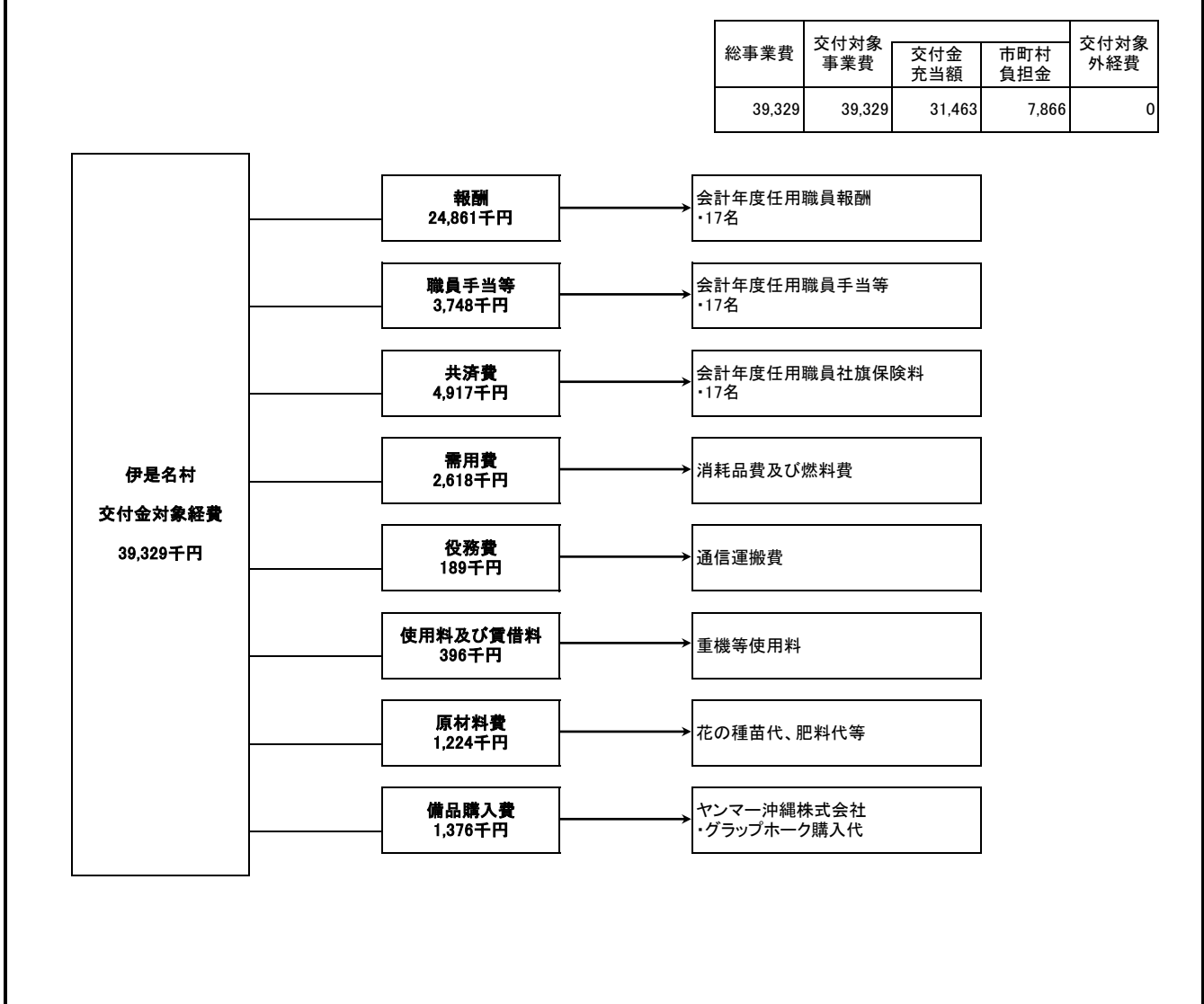


市町村名		伊是名村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-①	観光地等クリーンアップ事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	本村に数多く点在する史跡や文化財を地域資源として活用していくため、村内の各種イベントで使用する会場や観光施設、観光ルート等の草刈り作業や花壇等の環境整備を行い、花木等の植栽など美化活動を行う。							
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	35,000	35,000	45,000	54,092	51,220	
		(b) 予算現額	39,084	35,000	44,000	64,224	41,470	
		(c) 増減額(b-a)	4,084	0	▲ 1,000	10,132	▲ 9,750	
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-	
	A. 計(b+d)		39,084	35,000	44,000	64,224	41,470	
	B. 執行済額		39,084	34,027	43,362	62,929	39,329	
	うち交付金充当額		31,267	27,214	34,689	50,343	31,463	
	次年度繰越額		0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.2%	98.6%	98.0%	94.8%	
予算の状況の説明		当初計画では、作業員18人だったが、実績17人となったことによる人件費及び悪天候時の作業中止による報酬が減額となったため。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度		
	観光ルート等の雑草の除去及び花木の植栽、肥培管理の実施		目標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
	まつり会場(1カ所)、フットパスコース(1カ所)、集落内外(5カ所)、フラワーロード(4カ所)、観光施設等(5カ所)		実績	実施	実施	実施	実施	
			目標	()	()	()	()	
		実績						
達成状況説明		・観光ルート及び観光施設等の草刈りについては、現場の状況やイベント日程等を勘案し、作業員等と相談し作業を実施した。また、花壇の草取り、花木の植栽及び肥培管理においても同様に、作業員等と相談し、散水、草取り及び追肥等を計画的に実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)	
	観光地周辺の景観形成について、観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケートにより実施する。		目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績		99%	97%	99%	
	【参考指標】		目標	()	()	()	()	()
			実績					
進捗状況説明		本事業を客観的にみるため、入域者(観光客)に対し観光地の景観についてのアンケートを実施した。アンケート集計した結果、(問2)観光スポットはきれいと感じたかについて、「大変そう思う」が83%、「やや思う」が16%、合算して99%の方が満足したと回答しているため、目標を達成した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の数値が目標値を上回った要因として、観光地の景観維持・形成を目的としているため、観光客対象のアンケートにて高い評価を得たと考える。観光ルート、観光地等の草刈り及び植栽作業は、悪天候による作業中止や人員確保の困難といった問題はあったものの、概ね順調に実施できたと思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標を達成したが、今後は、観光地アンケートを観光客だけではなく、地元住民も対象に加え、住民の意見も取り入れながら、事業を実施していく。 ・梅雨時期や雨天時の作業中止に伴う、作業効率低下の改善を図るため、土日・祝日に作業実施し作業効率の維持に努める。
	今後の取り組み方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・季節毎に咲く花又は色の統一性といった、観光の目玉となるような取り組みを実施し、観光客の誘客に繋げる取り組みを考えていきたい。 ・作業員との意見交換をし、効率的な作業場所の振り分けによる作業時間の短縮や就労者の就労意欲の向上を図ることによる、観光地の景観形成・維持活動を持続的に実施する。 ・また作業員が安心安全で働けるよう、安全衛生講習会を実施する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



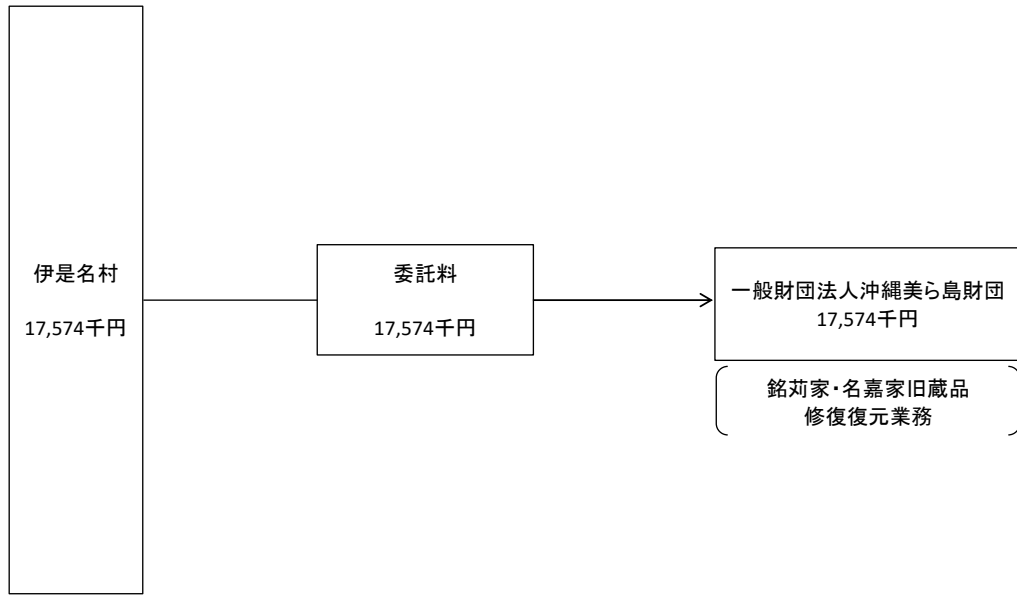
資金の 用途の 流れ、 点検、 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○任用職員は公募により雇用を行っており、その他経費についても村の会計規則に基づき適正に支出され妥当である。 ○予算規模について当初計画から25%減となっているが、任用職員が計画どおり雇用できていないのが要因。まだ人員不足のため募集継続する。 ○費目・使途は事業目的に即し必要なものであると判断し、妥当であるとする。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	伊是名村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	「尚円王(金丸)生誕の村」整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-7		
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	魅力ある歴史の島づくりをすすめ、更なる誘致による観光振興を図るため、PR活動を行う一方、尚円王に関する文化財の修復・復元を行う。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	42,606	31,900	11,977	16,064	18,800
		(b) 予算現額	34,350	31,900	12,005	12,172	17,574
		(c) 増減額(b-a)	▲ 8,256	0	28	▲ 3,892	▲ 1,226
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		34,350	31,900	12,005	12,172	17,574
	B. 執行済額		32,586	29,028	11,977	12,172	17,574
	<u>うち交付金充当額</u>		26,068	23,222	9,581	9,737	14,059
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		94.9%	91.0%	99.8%	100.0%	100.0%
予算の状況の説明		令和2年度予算については、事業計画通り執行が完了している。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	旧蔵品修復・復元の完了	目標	(完了)	(完了)	(完了)	(完了)	
		実績	完了	完了	完了	完了	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	銘苅家・名嘉家旧蔵品修復復元業務については、銘苅家・名嘉家の旧蔵品である、古文書、金工品の修復、図面作成を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	旧蔵品修復復元の完了	目標	()	(完了)	(完了)	(完了)	()
		実績		完了	完了	完了	
	【令和2年度成果目標】 旧蔵品を利用した祭時への来場者数	目標	()	(100)	(240)	(250)	()
実績			232	79	56		
進捗状況説明	銘苅家・名嘉家の旧蔵品修復・復元については、古文書、金工品の調査・修理・復元を実施し、完了することができた。 また、旧蔵品の模造復元資料を用いた祭祀行事である「公事清明祭」への来場者数を計測し、目標値250人のところ56人の来場に留まる結果となった。 これは、新型コロナウイルス感染症拡大防止措置のため、一般観覧者の入場を規制し、一部関係者のみで開催したためである。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・旧蔵品の修復については、熟練した技術を要する職人による手作業となることから、1件あたりの作業時間が膨大となるため、計画的且つ継続した事業の実施に取り組む必要がある。	・旧蔵品の修復にあたっては、複数年度を見通した修復計画を検討することで、計画的な事業実施に資すると考えられる。
	・修復した旧蔵品等については、文化財として保存を図るとともに、学校教育等の教材として活用することによる島内の子どもたちが生まれた島に誇りを持っていけるような機会の醸成に繋げる。また尚円王生誕の地としての本村のPR等に繋げるための、方策として積極的な利活用を図っていく必要がある。	・保存修理の完了した旧蔵品をはじめとした文化財について積極的な活用・情報発信を図っていくとともに、利活用状況等を適切に把握することで、PR方法や活用方法の見直し等について適宜行えるようになるものと考えられる。
	・昨今の新型コロナウイルス感染症に係る社会情勢により、当該事業の成果品を活用したイベント等の実施が困難な状況にある。	・人を集中させるイベント等の実施が困難であるため、代替策としてWEDサイトでの紹介や、広報誌等での情報発信を検討する。
今後の取り組み方針		
<p>・修復対象品目の選定にあたっては、事前に必要性、緊急性等を勘案し、翌年度以降にどの品目を修理・復元の対象とするかを事前に検討しておくとともに、劣化具合等を継続的に把握することで、必要に応じて優先度の再検討を行い、事業を実施していく。</p> <p>・修復が完了した文化財については、ホームページ等を活用して情報発信を行うほか、観光資源としてだけではなく、地域における文化財への意識高揚等を図る取り組みを実施する。併せて誘客等の状況を把握するにあたり、整備した文化財やその模造復元資料を活用したイベント等への来場者の把握を行うなど、可能な限り活用状況の把握に努めていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
17,574	17,574	14,059	3,515	0

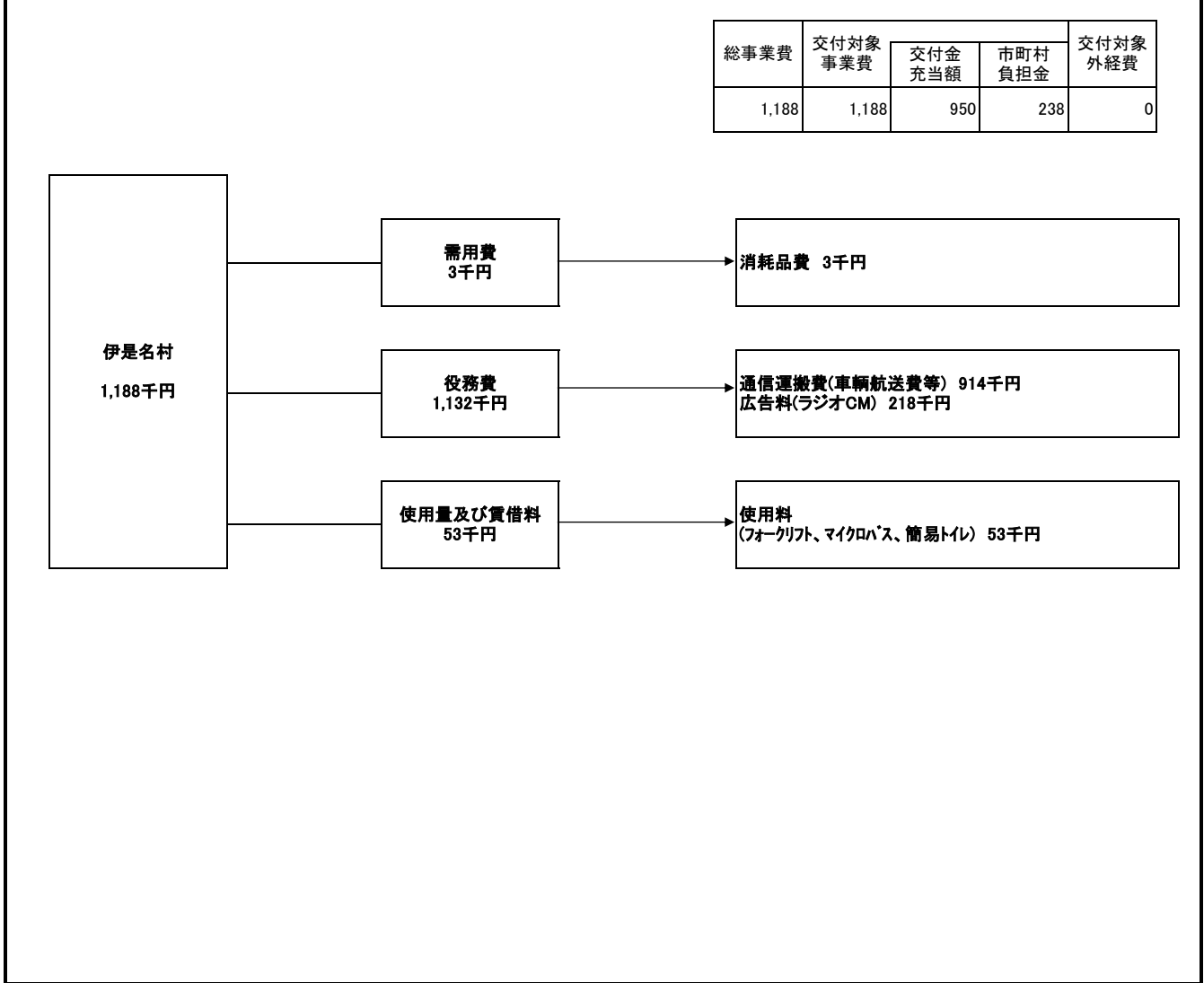


資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○銘苅家・名嘉家旧蔵品修復・復元業務については業務の特殊性を踏まえて一社随契を予定し、且つ価格性の確保から複数の業者からの見積りにより選定していることから、適正であった。</p> <p>○予算規模については、事業内容に見合った適正な規模であったと考える。</p> <p>○実績により成果物、書類等を精査し、委託料を確定しており、妥当と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑤	伊是名モータースポーツ支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	建設環境課	事業実施(予定)年度	平成26～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に資する事業等 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光誘客を促進するため、場外離着陸場を活用した新たなイベント事業として、モータースポーツ大会を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		15,030	11,722	14,732	13,663	5,001
			12,372	10,282	6,963	6,531	1,193
			▲ 2,658	▲ 1,440	▲ 7,769	▲ 7,132	▲ 3,808
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額		12,336	10,282	6,963	4,547	1,188
	うち交付金充当額		9,868	8,225	5,570	3,637	944
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		99.7%	100.0%	100.0%	69.6%	99.6%
	予算の状況の説明		コロナウイルスの影響により大会の開催数が減ったことで、不用が生じる見込まれたことから、3,808千円を減額し、事業を実施した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	ドラッグレース大会の開催	目標	(2)	(3)	(2)	(1)	
		実績	2	2	2	1	
	ドリフト大会の開催	目標	(2)	(2)	(0)	(0)	
		実績	1	2	0	0	
	ジムカーナ大会の開催	目標	(3)	(2)	(2)	(0)	
実績		3	1	2	0		
達成状況説明	コロナウイルスの影響により開催側のエントリー数確保困難などがあり2大会中止となった。それぞれの大会における関係スタッフの船賃、レース車及び関係車両の航送料の助成、マスコミを活用しての事前コマースを行う等、開催支援を行った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	モータースポーツ大会来場者数	目標	()	(880人)	(587人)	(139人)	()
		実績		625人	626人	143人	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	今回の来場者数の目標である139人以上を達成することができた。今後、大会の継続等による知名度の向上など、地道な取り組みを維持する必要がある。						

推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> ・島外からより多くの観戦者を受け入れるため、令和3年度も船舶の運航日程を変更(臨時便)して対応している。 ・イベント宣伝方法はラジオCM(FM沖縄・RBCラジオ)と主催者が作成したイベントポスターを主催者のホームページやSNS、カーショップ等に掲示する方法が主である。 	夏場や寒い時、急な大雨にも極力対応できるよう休憩スペース(テント増設)や備品保管のプレハブも退避スペースにする等改善を図る。また急な体調不良の選手、お客さんに対応できるようシャトルバスを救護スペースに活用し、応急救護に対応できる有資格者を配置するなど体制を整える。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> ・島外からより多くの観戦者を受け入れるため、引き続き船舶の運航日程の変更(臨時便の増便)を行うことにより、イベント時の需要に合わせて対応する。。 ・村外からの来場者に島をPRするため島内視察ができるかどうか検討する。。 ・全国にモータースポーツを通して「伊是名島」の知名度が広がっている(新聞、モータースポーツ全国誌特集で掲載など)来場者のリピーターも徐々に増えているが、長時間会場で過ごすため、時間を持て余したりレース観戦のみでは飽きる方も多いのでキッズスペースや音楽ライブなど子どもから大人まで楽しめるコンテンツを増やす。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



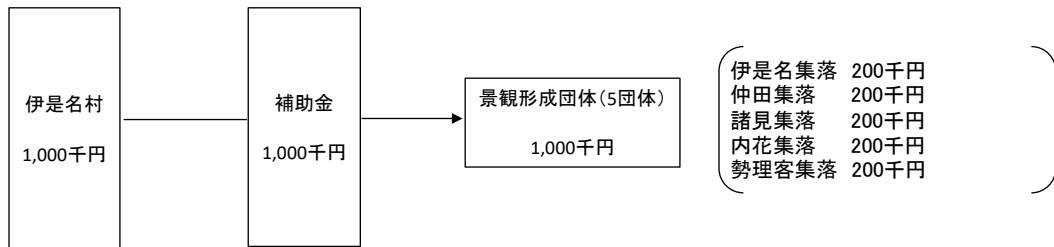
資金の流 れ、費 目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○見積により選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、当初予算より0.4%程不用が生じたが、輸送費の実績精算等に係る不用であり、見込の規模としては適正であった。 ○費目・使途目的について、支出調書・書類により確認を行い適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-⑦	沖縄らしい風景づくり推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア		
担当部署名	企画政策課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	イ 観光の振興に視する事業等 Ⅲ-10-(1)		
事業内容	魅力的な観光地としての景観形成を図るため、景観形成活動を行う団体を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		1,000	7,000	1,000	1,000	1,000
			7,000	1,000	1,000	1,000	1,000
			6,000	▲ 6,000	0	0	0
			-	-	-	-	-
		B. 執行済額	6,645	1,000	1,000	1,000	1,000
		うち交付金充当額	5,316	800	800	800	800
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	94.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%
		予算の状況の説明	当初計画通り適切に執行した。				
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	景観形成への支援 団体支援→5団体		目標 (団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	(団体支援5団体)	
			実績 団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	団体支援5団体	
		目標 ()	()	()	()		
		実績					
達成状況説明 村内5団体へ助成し、各団体は、それぞれの地域に相応しい景観形成活動を行った。具体的には、集落内の雑木の伐採や剪定、色鮮やかな花々の植栽、繁茂する草木の草刈り作業等、積極的に取り組んだ。 その結果、どんよりと暗い空間の印象があった箇所は、開放的な空間が生まれ、また、植栽により色彩豊かな印象を与えることができ、沖縄らしい景観形成により、村の観光産業に貢献した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	観光地としてふさわしい景観であると感じるかを含め(80%以上)、当該事業のあり方をアンケート調査により検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	81%	83%	89%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明 新型コロナウイルス流行の影響により、村の入域観光客数は減少したものの、観光客が多く訪れるシーズンに合わせ、満足度調査(アンケート調査)を行った。 集落内景観に関する満足度について、アンケートに回答した172人の調査票を集計した結果、おおむね満足に該当する回答者が154人であった。満足度89%という回答を得られ、その目標値は昨年度よりも大きく上回った。							

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 満足度80%という目標を上回った理由として、各団体が足並みを揃え活動を行ったことで、観光客がどの集落を訪れても、魅力的な景観が保たれているということが目標達成に貢献したと考える。また、団体の活動箇所を集落の中でも観光客がよく訪れる場所に限定したことも達成理由の一つである。 集落景観について「満足」と回答した意見の中に、集落の景観をSNSや広報誌を通してPRするべきであるとの回答があった。 成果目標は上回ったものの、アンケートの回収率は昨年度よりも半減した。アンケートの意見は、今後の事業のあり方を検証できるため、アンケートの実施方法については要検討。 	<ul style="list-style-type: none"> 令和元年度に「団体の足並みを揃えて活動する」、「活動場所を限定する」という2つの課題があったため、令和2年度にその課題も踏まえて事業を行ったことから、成果目標の達成に直結し、目標を大きく上回ったと考えられる。よって、次年度以降もこの点は継続していく。 集落景観の満足度について、「満足」と好意的な評価や意見も多数聴取でき、「SNSで集落景観を発信した方がよい」という今後のアドバイス等もアンケートから伺えたので、村の観光振興に貢献できるようなPR策も模索する。 アンケートの回収については、アンケート用紙を港に設置するほか、民泊事業者の方々に協力していただけるよう調整し、回収率の増加に努める。
	今後の取り組み方針	
	<p>満足度調査の結果を踏まえ、継続する部分と見直す部分があるため、今後の事業の実施方法については、団体の代表者と適宜調整しながら進めていく。また、アンケート回答者からいただいたアドバイス等は、次年度以降の取組に反映させ、魅力的な観光地としての景観形成に取り組む。</p>	

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
1,000	1,000	800	200	0



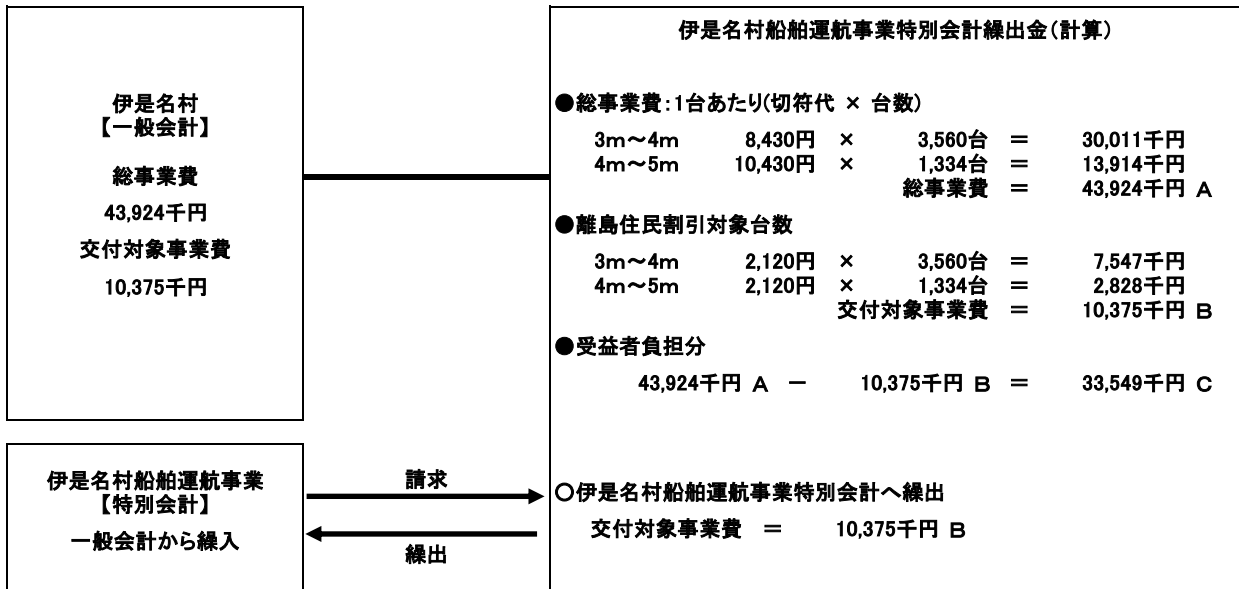
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○交付要綱に基づき決定しており、妥当である。 ○当初計画通り執行されており、妥当である。 ○実績報告に基づき書類等検査し、経費については対象経費に限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
○			

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	伊是名村自動車航送コスト負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア	
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	々離島の振興に資する事業等 Ⅲ-9	
事業内容	離島の不利生を解消し、定住促進を図るため、沖縄本島の今帰仁村運天港と本村を結ぶフェリーの自動車航送運賃を軽減する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	11,982	13,001	13,063	13,117	13,026
		(b) 予算現額	13,060	13,340	13,063	13,115	10,636
		(c) 増減額(b-a)	1,078	339	0	▲2	▲2,390
		(d) 繰越額	-	-	-	-	-
	A. 計(b+d)		13,060	13,340	13,063	13,115	10,636
	B. 執行済額		13,060	13,340	12,902	13,115	10,375
	うち交付金充当額		10,448	10,672	10,321	10,492	8,300
	次年度繰越額		0	0	0	0	0
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	98.8%	100.0%	97.5%
予算の状況の説明		目標6,000台以上を見込んでいたが、新型コロナウイルスの影響に伴う利用者の減により4,894台にとどまった。執行率は、計画どおり執行されており適正であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	自動車航送コスト支援の実施		目標 (負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	(負担軽減)	
			実績	負担軽減	負担軽減	負担軽減	
			目標 ()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	村内住民の沖縄本島との唯一の交通手段である船舶において、車輛航送運賃の助成を行ったことで、定期的に本島との往来を行うに際しての不利性が緩和されたことで、教育・医療・福祉の充実と定住条件の向上・村民の負担軽減に寄与した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	沖縄本島へ移動しやすい環境の構築が図れたか(80%以上)を含め、島民へのアンケートにより本事業のあり方を検証する。		目標 ()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	95.60%	90%	85%	
	【参考指標】		目標 ()	()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	本事業により定住条件の構築が図れたかを検証するため、村民を対象にアンケートを実施した。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	新型コロナウイルス感染症対策による渡航自粛によりフェリーの利用者が減少した。そのため、肯定的とされている80%以上の検証は達成したが、昨年よりアンケート検証に協力した村民が減った。	切符売場窓口やフェリーの新型コロナウイルス感染症対策を徹底しながら今後もアンケートにより本事業のあり方を検証する。
	今後の取り組み方針	
切符売場窓口やフェリーに新型コロナウイルス感染症対策として検温、アルコール消毒やマスクの着用を呼びかけ感染症対策を徹底し、アンケートの協力を呼びかけ本事業のあり方を検証する。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
43,924	10,375	8,300	2,075	33,549



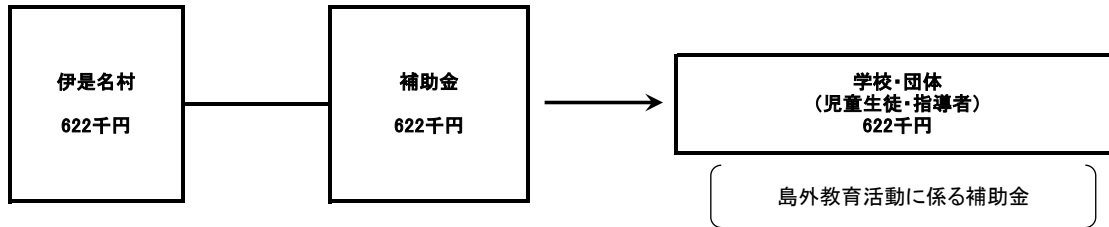
資金の用途の流れ、費目	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○自動車航送券の発券及び自動車台数の集計を取り扱っていることから支出先は妥当だと考えられる。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○自動車航送券の実績を踏まえて事業を実施しており適正な予算規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○7割強を受益者が負担していることから、負担関係はだとうであると考えられる。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費用・使途については確定時において支出等に関する書類により確認し適正であった。

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童生徒島外諸教育活動支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-7	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	人材の育成に資する事業等 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	島外の児童との競争や交流の機会を増やすことで児童生徒に広い視野を持たせることを目的として、島外で開催されるスポーツ大会や文化事業発表会に参加する児童生徒に対し、渡航費を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		1,700	2,060	2,040	2,180	2,150	
		2,160	2,598	2,040	2,180	800	
		460	538	0	0	▲ 1,350	
		-	-	-	-	-	
	B. 執行済額	1,952	2,422	1,964	1,785	639	
	うち交付金充当額	1,561	1,937	1,571	1,421	622	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	90.4%	93.2%	96.3%	81.9%	79.9%	
	予算の状況の説明	本年度は、コロナウイルス感染症予防対策に伴い島外での各大会等が中止又は延期となり強化練習試合等の参加もあまりできなかったため当初予算を大幅に下回ることとなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	島外教育活動への派遣費の支援:7団体		目標 (島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援)	(島外諸教育活動への派遣支援(6団体))	(島外諸教育活動への派遣支援)	
		実績	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援	島外諸教育活動への派遣支援(7団体)	島外諸教育活動への派遣支援	
達成状況説明	児童生徒が島外諸教育活動に参加するため、離島という地理的条件のために生じる経費(船賃、宿泊費の一部)各団体に支援することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	派遣された児童・生徒の保護者へのアンケートで、児童・生徒が島内ではできない経験をする事ができたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方について検証する。		目標	() (80%)	(80%)	(80%)	()
			実績	97.5%	95.0%	92.0%	
	【参考指標】		目標	() ()	()	()	()
			実績				
進捗状況説明	児童生徒を島外派遣することで競技力向上や島外児童生徒と交流することによるコミュニケーション能力の向上にも繋がると考える。また、保護者アンケートを実施した結果、保護者の方が92%の割合で「島内ではできない経験をする事ができた」と回答しており目標を達成することができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者からの意見として大半の保護者の方が事業に好感をもっている方が多いが、宿泊費の負担軽減については、補助増額の見直しについて要望がある。 ・児童、生徒の意見としては、他校との練習試合だけではなく試合後に交流を行う時間が少ないとの意見がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・宿泊費の補助増額については、他市町村の派遣事業を参考に進める必要がある。 ・強化試合後の児童生徒間の交流等を重点的に取り組めるよう指導者間での連携を行い児童生徒のコミュニケーション能力の向上に繋げる必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>・R2年度の成果目標について保護者アンケート調査を実施したが、今後は児童・生徒・指導者向けの要望調査も追加していくことで、本事業のあり方について検証していく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
639	622	498	124	17



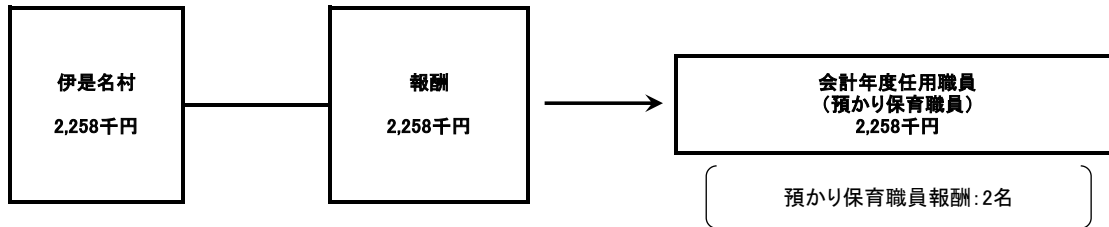
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○補助対象者については交付要綱等に従って決定しており、支出先の選定方法は妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については、派遣人数等に応じたものであり、適正な規模であったと考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○渡航費及び宿泊費(上限有り)が主な補助対象経費となっておりその他は個人の負担となっていることから、受益者との負担関係は妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。

市町村名	伊是名村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	幼稚園預かり保育支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-1		
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	^人材の育成に資する事業等 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	保護者の育児における負担軽減を図り、保護者が安心して仕事ができる環境づくりを実施するにあたり「幼稚園預かり保育」に必要な嘱託保育士を配置し教育時間終了後の預かり保育を実施する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,501	2,783	2,606	2,869	3,200
		(b)予算現額	2,026	2,783	2,606	1,469	2,482
		(c)増減額(b-a)	▲475	0	0	▲1,400	▲718
		(d)繰越額	-	-	-	-	-
		A.計(b+d)	2,026	2,783	2,606	1,469	2,482
		B.執行済額	1,788	2,189	2,377	1,353	2,258
		うち交付金充当額	1,430	1,751	1,901	1,060	1,807
		次年度繰越額	0	0	0	0	0
		執行率(%) (B/A)	88.3%	78.7%	91.2%	92.1%	91.0%
予算の状況の説明	当初見積もった金額より保育士賃金が下回ったが計画どおり執行できた。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	保育士の雇用:2人	目標	(1人)	(2人)	(1人)	(2人)	
		実績	1人	2人	1人	2人	
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	平成28年度よりすべての4歳及び5歳児を対象にした幼稚園2年教育がスタートし令和2年度は保育士2名を雇用できた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	保護者へのアンケートで預かり保育により育児の負担感が軽減されたと感じたか(80%以上)を含め、当該事業のあり方を検証する。	目標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
		実績		90.5%	92.0%	95.0%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	「預かり保育は保護者にとって育児の負担軽減につながっているか」のアンケートに対し90%以上の保護者が大いに当てはまると回答し目標を達成している。						

取組の検証	推進上の留意点 (推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証 (効率の更なる向上の視点)
	<p>・保育士を2名配置し事業を実施したが、全幼児の9割以上の34人が本事業を活用しており保育士2名での対応(預かり保育)は厳しい状況であるため、幼稚園教諭も対応を余儀なくしており、保育士の配置人員の再検討が必要である。</p>	<p>・本村の実情から本事業は必要であると考え、より充実した保育サービスを行うには保育経験者の雇用が必要であり村内は基より村外へも求人募集を行い保育経験者の確保に努める必要がある。</p>
今後の取り組み方針		
<p>次年度に向けて、引き続き保護者アンケートの回答結果や意見・要望などを踏まえて検証し、本事業の保育サービスの向上に努める必要がある。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
2,258	2,258	1,807	451	0



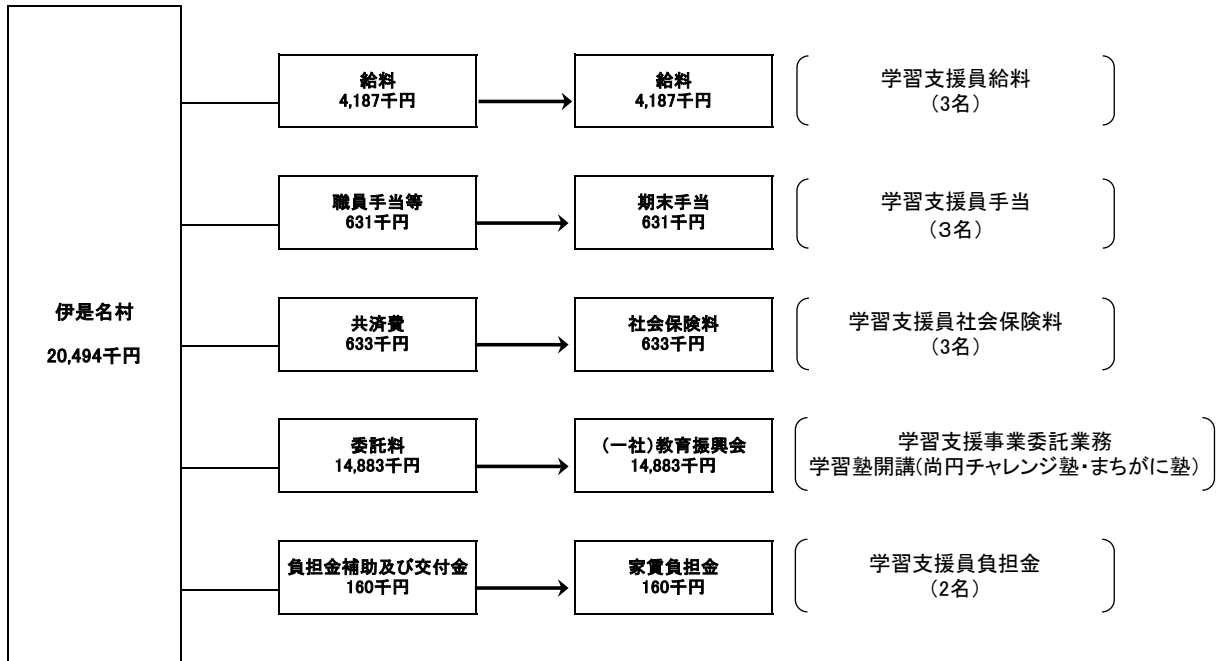
資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。</p> <p>○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。</p> <p>○費目・用途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑤	学習支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(3)-7	
担当部署名	教育振興課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	^人材の育成に資する事業等 Ⅲ-3-(1)	
事業内容	児童生徒の学力向上及び学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村営学習塾及び放課後教室の開講、学習支援員を配置する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
		14,968	23,510	26,380	26,792	28,327	
		16,150	19,965	22,630	26,792	26,106	
		1,182	▲ 3,545	▲ 3,750	0	▲ 2,221	
		-	-	-	-	-	
	B. 執行済額	14,473	18,680	21,063	26,562	22,322	
	うち交付金充当額	11,578	14,944	16,850	20,626	20,494	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	89.6%	93.6%	93.1%	99.1%	85.5%	
	予算の状況の説明	本年度は、4月から村営塾の開塾を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防対策に伴い緊急事態宣言が発令したため6月からの開塾となったため、当初予算額を下回ったがほぼ計画どおり執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	学習支援員の確保:3人	目標	(3人)	(3人)	(3人)	(3人)	
		実績	2人	2人	3人	3人	
	週4日程度学習塾を開講	目標	(週5日)	(週5日)	(週4日)	(週4日)	
実績		週3日	週3日	週4日	週3日		
達成状況説明	令和2年度は、学習支援員については目標値の3人で事業実施することができ、小学校の教育活動の支援及び学習に遅れのある児童の支援を行った。また、学習塾については、民間事業者へ公募型プロポーザルを実施し業者選定、週3日開講し民間学習塾のノウハウを取り入れた高い指導力と充実した内容で実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	①令和元年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 小学校 -11.4ポイント以上	目標	()	(-6.0ポイント以上)	(-9.1ポイント以上)	(-11.4ポイント以上)	()
		実績		-28.0ポイント	-28.0ポイント	-16.7ポイント	
	②令和元年度沖縄県学力到達度調査での村と県の平均正答率の差 中学校 -0.2ポイント以上	目標	()	(1.0ポイント以上)	(2.8ポイント以上)	(-0.2ポイント以上)	()
		実績		-15.8ポイント	-3.4ポイント	-19.2ポイント	
進捗状況説明	①小学校については(小6の2教科平均)-14.4ポイントで目標未達成、②中学校についても-19.2ポイントで目標未達成。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<p>・塾を開校後、早い段階で学力テスト等を行い児童生徒の学力について講師が把握し、個人面談等を実施し生徒の学習内容にあったメニューで取り組む必要がある。</p> <p>・学習支援員については、小学校へ2人、中学校1人の支援員を配置することができ、きめ細やかな学習支援活動に取り組むことができたが、教諭と支援員で連携し児童生徒の苦手な教化等を把握して支援に取り組む必要がある。</p>	<p>・学年によっては学力のバラつきがあり、このバラつきを小さくするためには継続した学習支援が有効と考えるが、昨年に続き学校・保護者・行政・委託業者の4者で連携する必要であるが、学校と委託業者との連携を更に強化し、児童生徒の個別学力を徹底的に分析し、児童生徒の学習等の課題を個別に作成した上で取り組むことが必要と考える。</p>
	今後の取り組み方針	
<p>・令和2年度は、高校入試合格率100%達成することができ、民間の高い指導力と充実した内容で取り組むことができたことによる成果と考える。今後も引き続き民間の高い指導力を取り入れた学習指導を行っていく。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
20,494	20,494	16,395	4,099	0



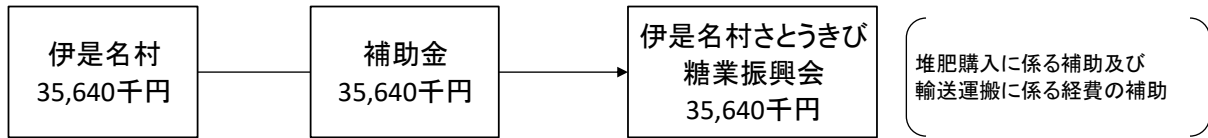
資金の 使途の 流れ、 点検、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<p>○支出先については村の例規に則って選定しており、妥当であった。</p> <p>○予算規模についてもほぼ見込みどおり執行し、適正である。</p> <p>○費目・使途については、事業目的達成の観点から必要な経費となっており、毎月の報告書等により確認、適正と考える。</p>
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名		伊是名村					
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	伊是名村土づくり支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-7	
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～令和3年度		沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興等に資する事業 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	安定的な有機堆肥の供給による土づくりの促進及び、農作物の生産性の向上を図るため、沖縄本島からの堆肥購入費用及び輸送費用を支援する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		43,900	35,984	42,552	34,128	36,940
			53,976	35,984	34,308	34,433	35,640
			10,076	0	▲ 8,244	305	▲ 1,300
			-	-	-	-	-
		53,976	35,984	34,308	34,433	35,640	
	B. 執行済額 うち交付金充当額		53,976	34,452	34,308	34,433	35,640
			43,180	27,561	27,446	27,546	28,512
		0	0	0	0	0	
		執行率(%) (B/A)	100.0%	95.7%	100.0%	100.0%	100.0%
	予算の状況の説明	当初予算額と見積金額との差額が生じたため、1,300千円の減額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	堆肥導入数量:2,000t	目標	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	(2,000t)	
		実績	2,000t	2,000t	2,000t	2,000t	
目標 実績	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	伊是名村さとうきび糖業振興会と連携をとり12月迄に2,000tの導入を実施し、堆肥散布時期に合わせて導入することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	さとうきびの単収:5,600kg	目標	()	(5,484kg)	(5,400kg)	(5,600kg)	()
		実績		5,480kg	4,754kg	5,582kg	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
実績							
進捗状況説明	目標値には届かなかったが、約99%と概ね達成したと考える。過去5年平均単収5,482kgにたいして100kg増となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・さとうきびの春植え、夏植え準備の時期に散布ができるように、堆肥を確保していく必要がある。 ・台風や降雨による肥料分の流亡対策として、連年散布を推進していく必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き有機肥料による土壌づくりの促進とあわせて、圃場への適量散布を促進し、散布面積の拡大を図る。 ・農家、農協、村で情報を共有し、堆肥散布後の適期肥培管理を実施し、収量増加を図る。
今後の取り組み方針		
<p>農家、農協、村で情報を共有し、圃場への適量散布を推進し散布面積の拡大を図るとともに、連年散布の推進及び散布後の適期肥培管理の周知を行い、災害に強い作物の生産及び、生産量の増加を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
35,640	35,640	28,512	7,128	0



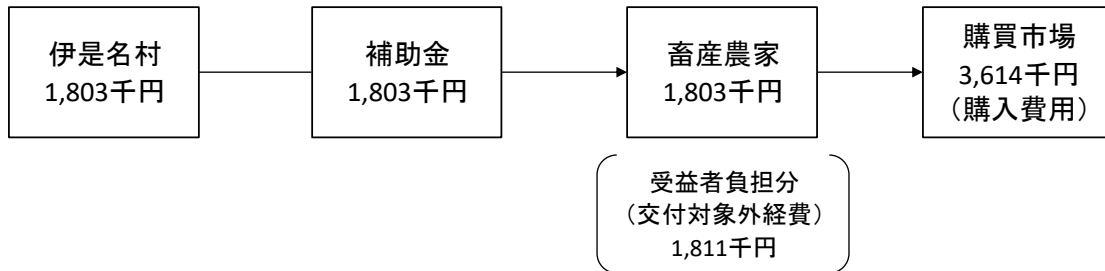
資金の 用途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に適合する補助対象事業者への支出となっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模は必要量と供給量の比較により妥当である。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○堆肥散布に係る経費等を受益者で負担しているため、妥当であると考えられる。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・用途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について、額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であったと考える。

市町村名	伊是名村						
令和2年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	伊是名村優良繁殖雌牛導入促進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-7		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	ハ 農林水産業の振興等に資する事業 Ⅲ-1-(6)		
事業内容	肉用牛の飼養頭数増加と農家経営の安定化を図るために、計画的に繁殖雌牛を導入する肉用牛繁殖農家等に対して導入費用の一部を助成する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		2,800	4,800	0	2,000	2,000
			4,732	4,800	0	2,000	2,000
			1,932	0	0	0	0
			-	-	-	-	-
	B. 執行済額	4,732	4,696	0	1,600	1,803	
	うち交付金充当額	3,785	3,756	0	1,280	1,442	
	次年度繰越額	0	0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	97.8%	#DIV/0!	80.0%	90.2%	
	予算の状況の説明	当初予算にて2,000千円(5頭導入)を計上し、事業実績として1,803千円の執行額となった。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	導入頭数: 5頭	目標	(12頭)	()	(5頭)	(5頭)	
		実績	12頭		4頭	5頭	
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	県内外の家畜セリ市場より優良繁殖雌牛の導入を実施し、当初目標の5頭を導入することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	導入した優良母牛から生まれた子牛とそうでない子牛との価格の割合107%以上	目標	()	()	(103%)	(107%)	()
		実績			102.60%	105.40%	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
進捗状況説明	令和2年度のセリ販売価格について、導入した母牛から生まれた子牛の平均販売価格561千円、その他の子牛の平均販売価格532千円となっており、価格差105.4%となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢母牛が未だ多く子牛の販売価格の伸び悩みの要因となっている。母牛の更新を促進し、母牛の優良化を図る必要がある。 ・畜産農家数が少なく、経営規模を拡大することが困難なため、畜産新規就農農家を増やし、規模拡大を図る必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産農家数を増やすために、新規就農農家や後継者等、次世代を担う農家への事業導入を推進する必要がある。 ・母牛の優良化をはかり、血統の組み合わせや飼養管理技術等の情報を関係機関で共有し、市場評価の高い子牛を生産する必要がある。
今後の取り組み方針		
<p>高齢母牛の更新を促進し、市場評価の高い子牛の生産を目指す。農家、村、JAおきなわが連携して、血統の組み合わせや疾病対策等の情報を共有し、子牛生産基盤の強化を図る。</p>		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
3,614	1,803	1,442	361	1,811



資金の流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○交付要綱に適合する補助対象者への支出となっており、妥当である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○導入実績、計画等を踏まえた予算規模となっており、適正であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○補助率を1/2として農家にも一定の負担が生じていることから、妥当と考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目・使途については確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。